

[ I ] マクロ経済学とはなんだろうか——— 11

- 1 - 経済をマクロでとらえるということ——12
- 2 - マクロ経済学とミクロ経済学の  
アプローチの違い——13
- 3 - 経済指標の見方——15
- 4 - フローとストックの違い——20
- 5 - マクロ経済学のフローチャート  
(本書の全体像)——20

[ II ] GDPを理解する——— 25

- 1 - 定義を学ぶということ——26
- 2 - GDPは付加価値の総額——26
- 3 - なぜ付加価値を考えるのか——28
- 4 - GDPの集計範囲——29
- 5 - グロスとネット——32
- 6 - 生産面からみたGDP——35
- 7 - 分配面からみたGDP——36
- 8 - 支出面からみたGDP——39
- 9 - 三面等価の原則——43
- 10 - 名目値と実質値——44

[ III ] 消費や投資などの決まり方  
(財市場の分析1)——— 47

- 1 - GDPを支出面から詳しくみる——48

- 2 - 消費——49
  - (1) 家計の消費行動を単純にとらえる—49
  - (2) 高かった日本の貯蓄率—53
- 3 - 投資——55
  - (1) 企業の設備投資は景気の牽引役—55
  - (2) 設備投資関数—56
  - (3) 在庫投資—58
  - (4) 住宅投資—62
- 4 - 政府支出——62
  - (1) 政府が決める政府支出—62
  - (2) わが国の財政事情—64
- 5 - 純輸出(外需)——69
  - (1) 純輸出の決定要因—69
  - (2) ISバランス—70

#### [IV] 所得水準の決まり方(財市場の分析2)——75

- 1 - GDP全体の動きを考える——76
- 2 - 有効需要の原理——76
- 3 - 国民所得の決定——79
- 4 - 45度線分析——82
- 5 - 乗数理論——87
  - (1) 政府支出の効果—87
  - (2) 減税の効果—90

#### [V] 利子率の決まり方(貨幣市場の分析)——93

- 1 - 利子率は一定?——94
- 2 - 貨幣市場と利子率——94
- 3 - 貨幣市場と貨幣の定義——96

- 4 - 貨幣の需要——99
  - (1) ケインズ型貨幣需要関数—99
  - (2) 貨幣数量説—102
- 5 - 貨幣の供給——104
- 6 - マネーサプライのコントロール——109
  - (1) 公開市場操作—110
  - (2) 過去に用いられた金融調整手段—111
- 7 - 貨幣市場の均衡と利子率の決定——114

#### [VI] IS-LM分析(所得と利子率の同時決定)——117

- 1 - IS曲線——118
- 2 - LM曲線——123
- 3 - 所得水準の決定
  - (財市場と貨幣市場の同時均衡)——126
- 4 - 財政金融政策の効果——128
  - (1) 財政政策の効果—128
  - (2) どのようなときに財政政策は効果的か—132
  - (3) 金融政策の効果—135
  - (4) どのようなときに金融政策は効果的か—138
- 5 - マンデル = フレミング・モデル——140
  - (1) オープンマクロ経済—140
  - (2) オープンマクロ経済下のIS曲線—141
  - (3) オープンマクロ経済下のLM曲線—142
  - (4) 小国の仮定—144
  - (5) 固定為替相場制下の  
マンデル = フレミング・モデル—145
  - (6) 変動為替相場制下の  
マンデル = フレミング・モデル—151

**[VII] 所得と物価水準の決まり方** ————— 157

- 1 - 価格が動く経済を考える——158
- 2 - 総需要と総供給——159
- 3 - 総需要曲線——162
- 4 - 総供給曲線——167
  - (1) 労働市場の分析—167
  - (2) 労働量の決定—168
  - (3) 労働者錯覚モデルによる  
総供給曲線の導出—171
- 5 - 所得と物価水準の決定——178
- 6 - 財政金融政策の効果・再考——179
  - (1) 財政政策の効果—180
  - (2) 金融政策の効果—182
  - (3) 価格上昇によるクラウディング・アウト—184
- 7 - 総供給曲線のシフト——186

**[VIII] インフレとデフレ** ————— 189

- 1 - インフレとデフレ——190
- 2 - フィリップス曲線——193
- 3 - 期待を想定したフィリップス曲線——198
- 4 - 総供給曲線とフィリップス曲線——200
- 5 - 長期のフィリップス曲線——204
- 6 - 期待インフレ率をどう考えるか——206
  - (1) 適応的期待形成—206
  - (2) 静学的期待形成—207
  - (3) 合理的期待形成—207
- 7 - インフレとデフレの社会的コスト——209

(1) インフレの社会的コスト—210

(2) デフレの社会的コスト—213

**[IX] より進んだ消費と投資の理論** ————— 217

- 1 - 経済現象に対する多様な見方——218
- 2 - より進んだ消費の理論——220
  - (1) ライフサイクル仮説—223
  - (2) 恒常所得仮説—224
- 3 - より進んだ投資の理論——227
  - (1) 加速度原理—227
  - (2) ストック調整モデル—229
  - (3) 調整費用モデル—230
  - (4) トービンの $q$ 理論—232

さらに進んだ学習のために ————— 235

注 ————— 238

索引 ————— 242